

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	施設サービス計画書(2)への他職種連携部分の記載。	記載されていない方のプランに対して、行っているサービスを記載していく。	今後のプラン更新の際に、記載方法を変更していく。	6ヶ月
2	1	勤務時間短縮により、ケア目標などが職員の意識から薄れていき、日々のケアが職員本位になっていく可能性がある。	ケア目標がどの職員にも浸透し、利用者様ファーストの介護が、今後も継続して実践できる。	ケア目標をありがとう通信に記載していく。 3ヶ月に1度の職員会議の前に、ケア目標やグループホーム職員の心得などを振り返る時間を持つ。	3ヶ月
3	6	身体拘束に関する記録の整備	研修レポートの整備 グループホーム内でも身体拘束の会議を行う事で、日々の介護の振り返りを行う事ができる。	レポート提出時の様式を定める。 3ヶ月に1度の職員会議の中で、身体拘束についての話し合いを持ち、記録の整備を行っていく。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。